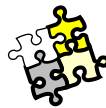




SEFたより

より良き人間社会のために



編集 SEF事務局
連絡先 080-8865-0951
URL <http://sef-jpn.org>

巻頭のこぼれ 「年頭所感」

理事長 佐立弘臣

新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルスの3年目の年を迎えました。「ウイズコロナ」の中、課題は自分自身の意欲をいかに維持するか、いかに高めていくかにあります。

残念なことこの2年の間、シニアの間に「コロナフレイル」が増えていると言います。「フレイル」とは、「虚弱」の意味、加齢とともに筋力や活力が徐々に低下していき、健康と要介護状態の「中間的段階」のこと。

コロナ感染防止のため、外出の機会が少なくなり「運動機能が低下」し、また人との会話が少なくなり「脳機能が低下」します。すると物忘れがひどくなり、又些細なことにすぐ怒りはじめます。変化の無い、達成感の無い日々の積み重ねが次第に「意欲の低下」を引き起こし、何かと理由をつけて活動しなくなります。これが「コロナフレイル」です。程度の差がありますがどこか思い当たることがあるのではないのでしょうか。

この「コロナフレイル」は認知症や抑うつ状態などに進行していくため、早い時期の改善が必要です。これを予防するには「規則正しく食事をすること」、「体を動かすこと」、「人との交流・社会活動に参加すること」と言います。SEF活動への参加もその対策の一つではないのでしょうか。

今年もよろしくお願いいたします。

12月度理事会より (第219回 12月8日)

事務局

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------|
| 1. 第2期(2022年度)年間スケジュールの作成
→可決承認 | 2. 第20期(2021年度)事業成行期末予想 →報告了承 |
|------------------------------------|-------------------------------|

事業報告 (業務支援事業部 G2)

担当理事 波多野正幸

新型コロナウイルスの猛威が沈静化したと感じた時にまた新変異ウイルスの拡大が起っています。事業活動がやっと少し始まったところですが、この先の見通しはまだ厳しいものです。本年の業務支援部会のグループ2は、新型コロナ対策でほぼリモートワークとなり、事業活動も減りました。その様な状況下で新規案件の受注活動を継続していましたが、当初予算で計画した成果を得る事は、大変厳しい状況にあります。日本の下期の状況は、まだ半導体不足、輸送能力不足などの供給制約による企業活動も抑制され、影響が残るものの、新型コロナ感染の沈静化とワクチン接種の普及に伴い、自粛や事業活動制限が緩和され、経済活動の回復傾向が期待されると言われています。雇用環境の改善ペースは緩やかに進展するともいわれています。10月以降徐々に事業活動も活発になりつつある中で、オミクロン株の拡散状況を見ながら、期末に向けて既存分野の事業支援案件の探索と情報収集、事業活動を進めます。

SEF サロン (第120回案内)

担当理事 白崎善宏

《 第120回案内 》

日時:2022年1月26日(水)、15時~16時30分 Zoom方式

講師:堀越 繁氏 賛助会員 日本エマソン(株)EPC 営業統括室室長

概要:近年 Industry 4.0 の名前に代表される、Digital Transformation(以下 DX)がプロセス産業、及び、そこで稼働する機械・装置の製造メーカー等の会社で標榜されております。当講演においては、それらのプラントの現場において DX がいかなる方向性をもって進展をしているか、どのような機器が使用されて DX が実装されつつあるかを、オートメーションの米国系会社であるエマソンの例をもって紹介します。内容には、大型プロジェクトがもつ会社業績への影響・課題、及び 海外、国内ユーザー各社の設備(アセット)保守の現状課題などを示し、その解決事例を計装設備事例として紹介します。

12月度会員動向

事務局

会員の入退会

なし

12月末日現在の会員数

正会員 : 22名、準会員 : 40名
賛助会員 : 5社+1団体